1液水性反応硬化形浸透性外壁用カチオンシーラー

# トーケミ浸透性シーラー

## 優れた浸透性と密着性で、下地をしっかり補強

### 幅広い下地適性

さまざまな下地への密着性に優れています。

### 優れた浸透性

浸透性に優れ、下地の強度を高め、安定した塗装面を形成します。

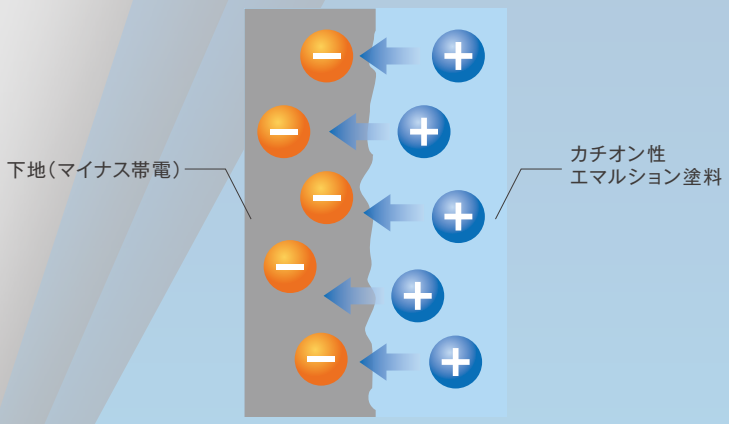
### 1液タイプで使いやすい

1液タイプのため調合の手間がなく、スムーズな施工を可能にします。

### 環境対応

水性塗料のためVOC（揮発性有機化合物）の排出やにおいが少なく、近隣や作業環境に配慮した施工ができます。

〈カチオン効果で高い密着性を発揮〉




プラス（＋）の電気性質を持つカチオン系樹脂の特性により、マイナス（－）の性質を持つコンクリートやモルタルなどの下地と電気的に引き合うことで、高い密着力を発揮します。

東京ケミテック
Tokyo Chemitech

# トーケミ浸透性シーラー

1液水性反応硬化形浸透性外壁用カチオンシーラー

## 塗料性状・荷姿

| 塗料名 | 色相 | 艶 | 荷姿 | 混合比（重量） | ポットライフ | 標準塗り面積（1回塗り） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| トーケミ<br>浸透性シーラー | 透明<br>ホワイト | — | 15kg缶 | — | — | 約75～150㎡/15kg |

## 適用基材

| | |
|---|---|
| 外壁 | コンクリート、モルタル、GRC板、ケイカル板、サイディングボード、吹付タイル、スタッコ、リシン、その他一般外壁 |

## 標準塗装仕様（塗り替え）

| 塗装工程 | 塗料名 | 塗り回数 | 使用量<br>（kg/㎡/回） | 塗り重ね乾燥時間<br>（23℃） | 希釈剤 | 希釈率<br>（重量%） | 塗装方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 下地調整 | 高圧洗浄などで、劣化塗膜・ごみ・ほこり・藻・かびなどの付着物を入念に除去し、十分に乾燥させる。<br>素地は含水率10%以下・pH10以下とし、浮き・割れ・ふくれのある旧塗膜は除去する。 | | | | | | |
| 下塗り | トーケミ浸透性シーラー | 1 | 0.10～0.20 | 4時間以上 | — | 無希釈 | はけ・エアレス<br>ウールローラー |
| 上塗り | 適用上塗り材※1 | 各上塗り材の標準塗装仕様による | | | | | |

※1 上塗り材は、各上塗り材の標準塗装仕様に従って施工してください。
注）上記の数値は標準のものです。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・施工条件などにより多少の幅が生じることがあります。

## 施工上の注意事項

**【本製品の注意事項】**

01. カチオン系塗料のため、希釈できません。また、他の塗料と混合しないでください。
02. 下地表面に微細なひび割れが生じている場合は、本仕様による施工は避け、他の工法を選択してください。
03. セメント質下地は、表面含水率10%以下（pH10以下）になるまで乾燥させてください。

**【施工環境・気象条件】**

04. 気温5℃以下、湿度85%以上、被塗物の表面温度が5℃以下の場合、結露のおそれがある場合、屋外で降雨・降雪・強風のおそれがある場合は塗装を避けてください。
05. 乾燥不十分な状態で降雨・結露の影響を受けると、ふくれ・はく離・白化・シミなどが発生するおそれがあります。夜露の早い地域や寒暖差の大きい時期は、早めに作業を終えてください。
06. 絶えず結露が発生する部位・環境での使用は避けてください。水性塗料、水溶性溶剤塗料では塗料中の水溶性成分が表面に溶出し、粘着物として析出することがあります。
07. ALC・軽量モルタル・高断熱型窯業系サイディング・発泡ウレタン使用建材など蓄熱しやすい「高断熱型外壁」では、蓄熱・水分・塗装環境などの条件が重なると、ふくれ・はく離が生じることがあります。躯体含水率が高い場合や漏水の止水処理が不十分な場合も同様です。旧塗膜にふくれがある場合は完全に除去してください。

**【素地調整・下地】**

08. 塗り替えの際は高圧洗浄やブラシなどで付着物・劣化塗膜を十分に除去してください。素地調整が不十分な場合、はく離・光沢不良・色むらなどの原因となります。
09. 高圧洗浄後は十分に乾燥させてから塗装してください。
10. 適用できる旧塗膜は、下地との付着性に問題のない活膜に限ります。光沢の残る旧塗膜や、無機・光触媒・フッ素などで表面処理された窯業系サイディングは、目荒らしのうえ試し塗りで付着性を確認してください。
11. 藻・かびが繁殖している場合は、除去および殺菌処理後に十分水洗・乾燥させてから塗装してください。
12. 洗浄に薬剤を用いた場合は入念に水洗いし、被塗面が中性であることを確認してください。薬剤が残存するとふくれ・はく離・白化の原因となります。
13. 吸込みの激しい下地では、濡れ感・艶が出るまで増し塗りしてください。

**【調合・希釈・かくはん】**

14. 使用前に十分にかくはんしてください。開缶後は一度に使い切り、残った塗料を元の容器に戻さないでください。

**【塗装作業】**

15. 所定の塗り回数・使用量を必ず守ってください。不足すると付着不良や、上塗りの吸込みむらの原因となります。
16. 塗り重ね乾燥時間を守ってください。短いと、ちぢみ・割れ・乾燥不良、長く空きすぎると層間の付着不良の原因となります。
17. ローラー目は同一方向にそろえて仕上げてください。はけ・ローラーは製品ごとに専用とし（水性塗料はナイロンはけ）、その日のうちに洗浄してください。
18. 塗装しない箇所は事前に養生し、付着した塗料は直ちに拭き取ってください。

**【適用部位・部材】**

19. シーリング面への塗装は、汚染・はく離・割れ・粘着の原因となるため、原則として行わないでください。やむを得ず行う場合は、ノンプリードタイプのシーリング材を用い、完全硬化後に塗り重ね適合性を確認のうえ塗装してください。
20. 可塑剤を多く含む部材（塩ビ鋼板・軟質塩ビ・ゴムパッキン・合成皮革・ラミネート材など）への塗装は、粘着・軟化・汚染が生じるおそれがあります。

**【保管・取扱い・廃棄】**

21. 塗料は直射日光・雨を避け、子どもの手の届かない場所に保管してください。塗料は凍結させないでください。容器は横倒しにしないでください。
22. 取扱い時は十分に換気し、必要に応じて保護マスク・保護めがね・保護手袋を着用してください。皮膚に付着した場合は石けん水で洗い落としてください。
23. 塗料・塗料容器・塗装用具などは産業廃棄物として処理してください。洗浄水を排水溝・河川・土壌へ流さないでください。
24. 使用期限は未開封で、水性・水溶性溶剤は製造後6ヶ月、溶剤形は製造後12ヶ月です。

■本仕様書の内容は予告なく変更することがあります。■危険有害性情報・取扱い上の注意は、安全データシート（SDS）をご参照ください。

東京ケミテック株式会社
TEL.03-6826-0408　https://tochemi.jp

2026年12月現在